

## 添 付 書 類

### 1 法人にあっては登記簿謄本、個人にあっては住民票の写し

<別添>

### 2 主として販売する物品の種類

小売業者名	主として販売する物品の種類

小売業者ごとに記載する。

### 3 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面

#### (1) 建物配置図 <別添>

店舗部分、その他の施設、駐車場等の施設の配置がわかる図面。

#### (2) 各階平面図 <別添>

小売業者ごとの店舗部分と店舗以外の主な施設を明示した図面。

#### (3) 求積表・求積図 <別添>

店舗部分、荷さばき施設、廃棄物等の保管施設の面積等がわかる図面。

### 4 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠

#### (1) - 1 駐車場必要台数算出根拠（指針による計算の場合）

事 項 等		各事項算出のための計算式等
地区の区分	商業地区・その他地区	
S:店舗面積	千m <sup>2</sup>	
A:店舗面積あたり 日來客数原単位	人/千m <sup>2</sup>	
B:ピーク率	14.4%	駅名( )
L:駅からの距離	m	
C:自動車分担率	%	
D:平均乗車人員	人/台	
E:平均駐車時間係数		
必要駐車台数	台	

(1) - 2 駐車場必要台数算出根拠（指針によらない計算の場合）

特別な事情の説明：

必要駐車台数  台

必要駐車台数算出根拠：

(1) - 1 又は(1) - 2 のどちらかを記載する。

(2) その他の駐車場の状況（従業員用、業務用などの駐車場）

事項	有無の別	小売店舗駐車場 と共用の別	駐車台数	算出根拠
従業員等駐車場	有・無	共用・別途	台	
業務用駐車場	有・無	共用・別途	台	

(3) 利用者が同一の複合施設の駐車場

名称	営業内容	面積
		m <sup>2</sup>
		m <sup>2</sup>
		m <sup>2</sup>
合計（s）		m <sup>2</sup>
S:店舗面積×0.2		m <sup>2</sup>

（上記の面積の合計が、大規模小売店舗の面積の2割を超えている場合）

当該施設の必要駐車台数  台

必要駐車台数算出根拠：

(4) 利用者が異なる複合施設の駐車場

名称	営業内容	面積
		m <sup>2</sup>
		m <sup>2</sup>
		m <sup>2</sup>
合計		m <sup>2</sup>

当該施設の必要駐車台数	台
必要駐車台数算出根拠：	

5 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

以下は例示です。その他にも駐車場の出入口を設定するデータの根拠がある場合には示してください。

(1) 駐車場の自動車の出入口の形式

駐車場の入庫処理能力（自走式で発券ブースのない駐車場は記載の必要なし）

出入口の場所	1時間当たり入庫処理能力	ピーク1時間に予想される来客の自動車台数
	台	台
	台	台

敷地内駐車待ちスペース

出入口	駐車待ちスペースの長さ	必要な駐車待ちスペース	
		長さ	算出根拠
	m	m	
	m	m	

(2) 敷地周辺の道路の状況

道路名				
道路幅員 (車線数)	m 車線	m 車線	m 車線	m 車線
歩道の有無・幅員	有・無 m	有・無 m	有・無 m	有・無 m
交通規制				
信号交差点数	交差点	交差点	交差点	交差点
横断歩道等の状況	有・無	有・無	有・無	有・無
通学路の有無	有・無	有・無	有・無	有・無

道路名、交通規制、信号交差点、横断歩道等は添付図面中に記載する。

(3) 来客の自動車の方向別来台数の予測の結果等

交通量調査の結果（実施した場合）

調査年月日	調査場所	調査方法	調査結果

方向別自動車来台数の予測値等

予測方法	予測の根拠	予測結果

(4) 交差点の解析

予測交通量を基に交差点飽和度、流入混雑度、右折車線滞留長等の解析を行った結果を記載する。

6 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

(1) 施設周辺見取図（別添）

方面別の来客について設定する案内経路を記載する。

案内表示、交通整理員を配置する場合にはおおよその位置を明示する。

(2) 案内方法

項目	内容
案内表示の設置	設置場所・内容等を記載する。
チラシ等の配布	配布方法・内容等を記載する。
交通整理員の配置	配置場所・人数・配置日時等を記載する。
その他	

7 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

時間帯	車種			
	( )	( )	( )	( )
00:00～1:00				
1:00～2:00				
2:00～3:00				
3:00～4:00				
4:00～5:00				
5:00～6:00				
6:00～7:00				
7:00～8:00				
8:00～9:00				
9:00～10:00				
10:00～11:00				
11:00～12:00				
12:00～13:00				
13:00～14:00				
14:00～15:00				
15:00～16:00				
16:00～17:00				
17:00～18:00				
18:00～19:00				
19:00～20:00				
20:00～21:00				
21:00～22:00				
22:00～23:00				
23:00～24:00				
小計				
合計				台

車種の( )内には平均的な荷さばき作業時間を記載する。

8 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面

遮音壁NO	構造
	高さ： 厚さ： 材質・構造：
	高さ： 厚さ： 材質・構造：

図面は別添とする。

9 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面

項目	設置の有無	基数	稼働時間帯	位置
冷 却 塔	有 ・ 無			
室 外 機	有 ・ 無			
送 風 機	有 ・ 無			

図面は別添とする。

10 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

(1) 昼間の等価騒音レベルの予測

騒音発生源	基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間または騒音発生回数	予測地点までの距離 (m)				各予測地点における騒音レベル(dB)			
	騒音レベル	根拠		A	B	C	D	A	B	C	D
定常騒音	冷却塔										
	室外機										
	給排気口										
変動騒音	自動車走行										
	荷さばき車両アイドリング										
	荷さばき車両後進ブザー										
	廃棄物収集作業										
	BGM等										
衝撃騒音	荷捌き荷おろし音										
	荷捌き台車走行音										

予測地点	騒音にかかる環境基準		等価騒音レベル(dB)
	地域の類型	基準値(dB)	
A地点			
B地点			
C地点			
D地点			

予測式等を用いた計算は別添とする。

(2) 夜間の等価騒音レベルの予測

騒音発生源		基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間または騒音発生回数	予測地点までの距離 (m)				各予測地点における騒音レベル(dB)				
		騒音レベル	根拠		A	B	C	D	A	B	C	D	
定常騒音	冷却塔												
	室外機												
	給排気口												
変動騒音	自動車走行												
	荷さばき車両アイドリング												
	荷さばき車両後進ブザー												
	廃棄物収集作業												
	BGM等												
衝撃騒音	荷捌き荷おろし音												
	荷捌き台車走行音												

予測地点	騒音にかかる環境基準		等価騒音レベル(dB)
	地域の類型	基準値(dB)	
A地点			
B地点			
C地点			
D地点			

予測式等を用いた計算は別添とする。



11 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生するが見込まれる場合にあつては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

騒音発生源		基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間または騒音発生回数	予測地点までの距離 (m)				各予測地点における騒音レベル (dB)				
		騒音レベル	根拠		A	B	C	D	A	B	C	D	
定常騒音	冷却塔												
	室外機												
	給排気口												
変動騒音	自動車走行												
	荷さばき車両アイドリング												
	荷さばき車両後進ブザー												
	廃棄物収集作業												
	BGM等												
衝撃騒音	荷捌き荷おろし音												
	荷捌き台車走行音												

騒音規制法における夜間の規制基準値に基づく当該出店地の区域及び基準値  
 区域 : 基準値 :

予測式等を用いた計算は別添とする。

12 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

(1) - 1 廃棄物等の排出量の予測（指針による算出の場合）

廃棄物種別	店舗面積：S		一日当たりの廃棄物等の排出予測量 (指針原単位 × S)	平均保管日数	見かけ比重	保管容量
紙製廃棄物等	6,000㎡以下の部分	千㎡	指針原単位：0.208 ( t )	日		m <sup>3</sup>
	6,000㎡超の部分	千㎡	指針原単位：0.011 ( t )			
	計		t			
金属製廃棄物等	6,000㎡以下の部分	千㎡	指針原単位：0.007 ( t )	日		m <sup>3</sup>
	6,000㎡超の部分	千㎡	指針原単位：0.003 ( t )			
	計		t			
ガラス製廃棄物等	6,000㎡以下の部分	千㎡	指針原単位：0.006 ( t )	日		m <sup>3</sup>
	6,000㎡超の部分	千㎡	指針原単位：0.002 ( t )			
	計		t			
プラスチック製廃棄物等	6,000㎡以下の部分	千㎡	指針原単位：0.020 ( t )	日		m <sup>3</sup>
	6,000㎡超の部分	千㎡	指針原単位：0.003 ( t )			
	計		t			
生ごみ等	6,000㎡以下の部分	千㎡	指針原単位：0.169 ( t )	日		m <sup>3</sup>
	6,000㎡超の部分	千㎡	指針原単位：0.020 ( t )			
	計		t			
その他可燃性廃棄物等	千㎡		指針原単位：0.054 ( t )	日		m <sup>3</sup>
				合計		m <sup>3</sup>

見かけ比重について指針の数値によらない場合の根拠等

--

(1) - 2 廃棄物等の排出量の予測（指針によらない算出の場合）

特別な事情：（特別な事情がある場合は記載する。）

予測排出量	
-------	--

排出量予測の根拠：

(1) - 1 又は(1) - 2 のどちらかを記載する。

(2) 小売店舗以外の施設からの廃棄物等の排出状況  
（小売店舗以外の施設がある場合のみ記載する。）

廃棄物保管施設の状況	小売店舗と共用	・	小売店舗と別途確保
共用する場合には小売店舗以外の施設からの廃棄物等の予測排出量と予測の根拠を記載する。			